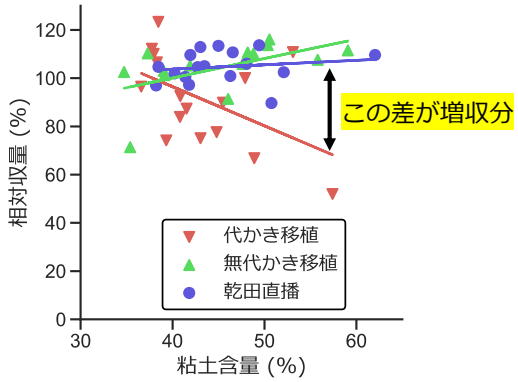
粘土質圃場では無代かき水稲栽培が後作大豆を増収させる

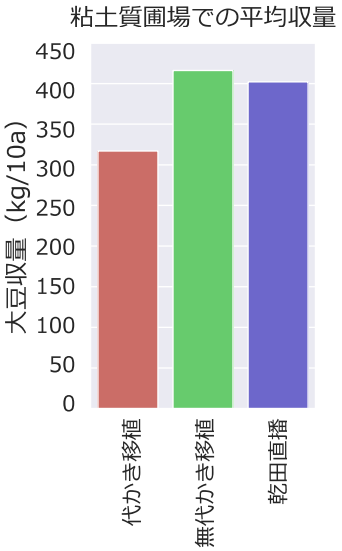
概　要 Abstract

粘土質圃場での田畑輪換体系では、無代かき移植や乾田直播による水稲栽培を導入すると、翌年栽培する大豆の収量が増加することを明らかにしました

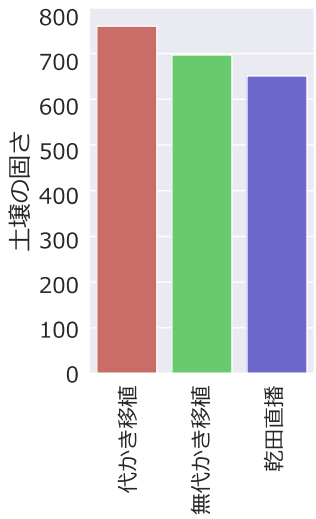
成　果 Results

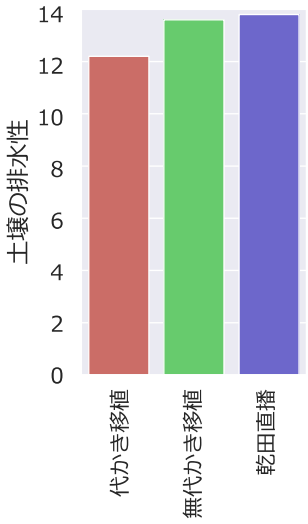


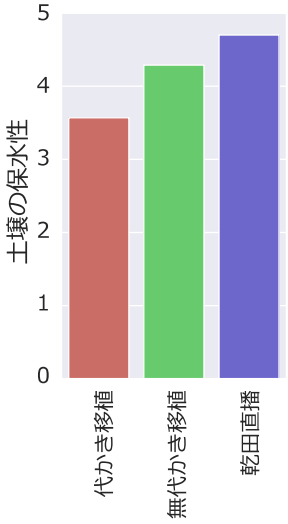
粘土含量が高い圃場ほど代かき移植水稲後の大豆収量が低下します



そのため、粘土質圃場で代かきを省略した水稲栽培を導入することで約30%の後作大豆の増収が確認できました







大豆収量に差が出るのは、粘土質圃場で代かきを行うと、土壌が固くなるとともに、排水性も保水性も悪くなるからと考えられました

普　及 Dissemination

「水稲ー大豆」の田畑輪換体系に活用できる成果です

連絡先 Contact

農研機構北海道農業研究センター
寒地野菜水田作研究領域野菜水田複合経営グループ
011−851−9141
harc-seika@affrc.go.jp

本研究は、「生研支援センター委託　革新的技術開発・緊急展開事業（うち経営体強化プロジェクト）、（うち地域戦略プロジェクト）」、「生研支援センター委託　攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業（うち産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立）」、「農水省委託　戦略的プロジェクト研究推進事業（うち多収阻害要因の診断法及び対策技術の開発）」の支援の下で実施しました